

《在宅医療連携拠点事業の活動のご報告》

2024 年度 4 月より始動した大阪市中心部在宅医療連携拠点事業において、多くの関連機関の皆様の支援を賜り誠に有難うございました。昨年度の活動について、ご報告させていただきます。

1. 相談に関する業務

これまで在宅医療介護連携コーディネータが構築してきた介護保険対象者を支援する関連機関の相談体制に加え、介護保険対象外（障がい、AYA 世代、小児など）についても窓口を設置しました。在宅医療連携拠点事業の支援の対象は、介護保険対象者外の方を支援する関連機関です。今年度、在宅医療連携拠点に寄せられた相談は 6 件でした。

（2024 年度 相談例）

相談 内容	60 代パーキンソン病のご家族からの相談 障がい者基幹支援センターに在宅でパーキンソン病に対する L S V T（Lee Silverman Voice Treatment）プログラムが実施できるセラピストが在籍している事業所の情報が欲しいと連絡があった。
対応	対象が本プログラムの適応基準に該当しているのかを確認する。 L S V T 認定ライセンスを取得したセラピストが在籍している事業所を情報提供する。

（福祉現場から頂いた声）

- ・「医療の敷居が高く、気軽に相談しにくい」
- ・「〇〇を専門で診てくれる病院を探したい」
- ・「医療機関にかかっていない障がい者の、本人および介護者が緊急事態に陥った時に困った」
- ・「障がい制度から介護保険制度への移行時のトラブル」 など

《2025 年度に向けて》

- 1) 福祉現場の困りごとに対応できるように、地域の医療、介護・福祉事業所のリスト化や相談業務の充実化を図っていきます。
- 2) 地域における在宅医療、介護、福祉関係機関の現状と課題を把握し、連携を深めることで課題解決に向けた取り組みを進めていきます。

障がいをもつ方が、安心して中央区で暮らすためには、職種の壁をこえた連携が重要です。

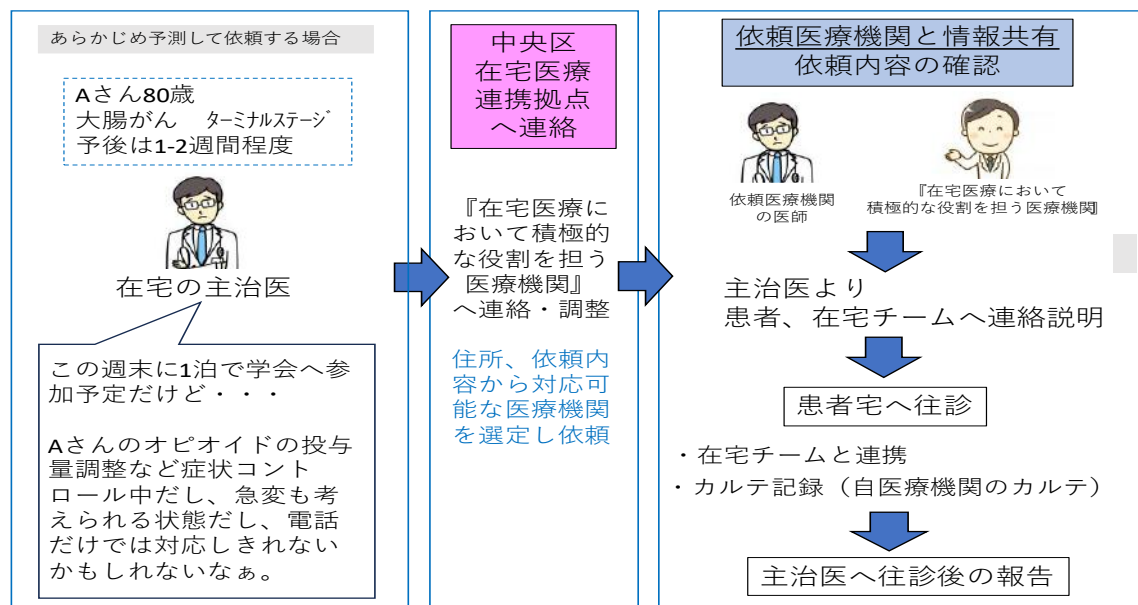
医療・介護・福祉の連携に関するお困りごとは、「中央区在宅医療拠点」へご連絡ください。

2. 積極的役割を担う医療機関と連携による 24 時間体制の構築

『積極的な役割を担う医療機関の会議（中央区在宅医療会議）』年 4 回/年 開催し、①～③について検討しました。

- ① 緊急時の連絡・相談体制のフローを作成、モデルケース作成
- ② 往診時の連絡ツール、診療報酬、カルテ記録について検討
- ③ 24 時間体制への要望（ニーズ）把握

中央区24時間体制モデルケースのイメージ



・引き続き、中央区の24時間医療体制の構築をすすめて参ります。

3. 同行訪問による人材育成事業

2024年度は、4名の医師・医学生の研修を受け入れました。（2025年3月現在）

医学生	0名
医師	4名 /年間 それぞれ1日ずつ



参加した急性期病院の医師

- ・同行訪問希望の日数：1日
- ・研修の目的：訪問診療に関心があり体験したい
- ・見学内容：がん終末期の栄養管理、麻薬等の薬剤の調整
有料老人ホームの訪問診療
- ・感想：地域に帰ってどのようにお過ごしになっているのかを知ることができました。在宅医療について関心が高まりさらに勉強したいと思いました。

«2025年度に向けて»

- ・将来の在宅医療を担う医師の人材育成を目的とした研修を継続します。 詳細は下記ホームページをご参照ください。
- ・2024年度の研修を評価し、個別ニーズに添えるように研修内容を充実させていきます。

4. 『中央区在宅医療連携拠点事業』のホームページを作成しました

- ホームページを通じて様々な情報を発信します。
- 大阪市中央区南医師会のホームページより、「同行訪問の案内」「申し込み用紙」がダウンロードできます。



5. 4月から下記の窓口開設時間に変ります☆シ

	相談窓口対応時間	担当者
月曜日	12:00～17:00	中西
火曜日	11:00～17:00	久保
水曜日	13:00～17:00	中西
木曜日	12:00～17:00	中西

*****お問い合わせ先*****
電話:080-8506-5119(中西・久保)
cyuo.z.kyoten@osaka-minami-med.or.jp